

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○学校教育目標の実現を目指して、活力と魅力にあふれた学校づくりをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力向上を目指します。</li> <li>・人間関係のつくり方を学ぶことを通して、個々の違いを認めともに学び合う風土づくりを行います。</li> <li>・保護者、地域との連携、協働の中で、豊かな心を育てます。</li> <li>・健康教育と食育の充実を図り、健康でたくましい体を育てます。</li> <li>・教職員が相互に啓発、連携する活気にあふれた学校運営を行います。また学校として組織的対応を行い、子どもを育てます。</li> </ul>	

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p><b>豊かな心</b></p> <p>担当 縦割り福祉委員会・環境教育委員会</p>	<p>本校の特色である稲作体験活動と縦割り活動を柱として、子ども同士がかかわり合い、互いに思いやる心を育めるようにする。</p>	<p>① 学習やささまざまな行事等を通して地域の方々とふれあい、豊かな人間関係を育めるようにする。</p> <p>② 荇田小の特色ある学び（生産活動・縦割り活動による学び・地域の方々との活動による学び）の創造を継続していく。</p>

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

・自然豊かな環境にある。地域の方々が協力的で多方面において支援を受けることができる。子どもたちは素直で活動力がある。相手の気持ちを考えて話したり、行動したりすることが苦手で、ルールを守らなくても自分は大丈夫というような自己中心的な考えをする場面も多い。高学年は、縦割り活動の中から思いやりをもって活動でき、それを生活に生かす場面もある。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針 1 「特別の教科 道徳」の充実

○体験活動と道徳教育の要となる特別の教科 道徳との総合化を図り、道徳的な見方・考え方・感じ方を自分ごととして学んでいけるようにする。

- ・「特別の教科 道徳」の授業を家庭や地域に公開し、公開後の学級懇談会やアンケートなどを参考に「特別の教科 道徳」の指導に活かす。
- ・「特別の教科 道徳」の年間計画・人権年間計画の実践をしながら見直しをする。

### 指針 2 体験活動の充実

○生活科や総合学習の重点研究を通して米作りなどの豊かな生産活動による学びや多くの人とかかわることでコミュニケーション力を高める。

- ・縦割り班活動などの異年齢集団活動を充実させる。
- ・体験を通してよりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的態度を育てる。

○体験的な学習がより充実するように、地域の方々や家庭への協力を図る。

- ・昔遊びや昔体験、地域ケアプラザとの交流、クラブ活動や読み聞かせ、体力テストなど